校長室だより　令和三年度　第十六号

せおと

岡崎市立常磐小学校
令和三年十月十一日

秋に

最近読んだ本の中に、こんな俳句がありました。

結構違ふよ団栗の背くらべ　小林貴子

（「俳句手帳」堀本裕樹　著）

「どんぐりの背くらべ」と言えば、どれも似たようなもので大した違いはないという、日常よく使われることわざです。でも実際落ちているどんぐりを拾って並べてみると、その大きさや形には違いがあることに気づかされます。この句のおもしろさは、みんながあたりまえだと思っている見方に「違うよ」と声を上げたところにあります。

どんぐりもこう言っているかもしれませんね。

そうだそうだ、よく見ろよ、おいらたちは一粒一粒違うのだ！

みんながあたりまえだと思っている考えに、反対意見を言うことは、とても勇気のいることです。と同時に、みんながあたりまえにしていることを、自分だけしないということは悪いことだと感じてしまうことがあります。この罪悪感で自分を責めて、苦しんでいる子がいるかもしれません。勇気の大きさは、一人一人違いますから、がんばるところも一人一人違うことを忘れないで認め合ってほしいと思います。

先週、五年生が保健の授業で、「心の健康」をテーマに、不安や悩みへの対処の仕方を考えていました。不安や悩みは誰もが経験します。保健室の先生が「不安や悩みの種類や重さにも違いはありますが、必要以上に否定的にとらえることなく、自分の心の変化を受け入れることができるようになるといい」と言っていましたが、本当にそうだなと思いました。

授業の中では、リラックスする方法として、呼吸法も体験していました。私自身も呼吸法を実践しています。他には、本を読んで想像の世界に浸ることやおいしいものを食べることなどもおすすめです。そして何より、誰かに話すということが大切だと思います。すぐには解決しないかもしれませんが、話したり読んだり違う角度から見てみたりすることで、きっと道が開かれてきます。どんな悩みも尊いものだと思います。

【保護者の皆様へ】●十月二十三日（土）学芸会について

配付した学芸会当日のしおりに記載されている「感染症対策」を講じて開催をいたします。誠に申し訳ありませんが、観覧いただけるのは、ご家庭のお子さんの演目のみ、保護者二名までとさせていただいております。それに伴って発生する待ち時間など、ご不便をおかけするかと存じます。何卒ご理解とご協力をお願いいたします。